

2019年2月

## 【新刊発売のご案内】

## 『生活者の平成30年史 データでよむ価値観の変化』

著：博報堂生活総合研究所

1981年の設立以来、生活者に特化して研究を行っているシンクタンク：博報堂生活総合研究所（以下、生活総研）が、『生活者の平成30年史 データでよむ価値観の変化』を出版いたしましたので、お知らせします。

**平成は、平静ではなかった。**

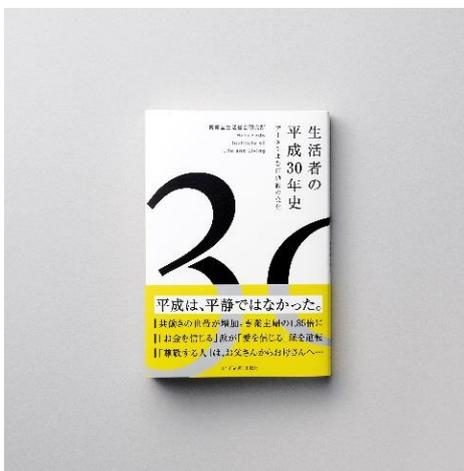
生活総研が続けてきた長期時系列調査をもとに、平成という時代を政治・経済や社会の出来事からではなく、生活者の意識や価値観から振り返る一冊。書籍の体裁は時代の大きなうねりをご理解いただけるよう、多数のデータをグラフでわかりやすく紹介するスタイル。平成の生活者の変化が一目瞭然なのはもちろん、この先に起きる未来を見通すヒントも満載。2色。グラフや写真など、ビジュアルも豊富です。

**本書でご紹介する、主な長期時系列調査**

- 『生活定点』 1992年から隔年で実施。20～69歳の男女が対象
- 『家族調査』 1988年から10年おきに実施。妻の年齢が20～59歳の夫婦が対象
- 『子ども調査』 1997年から10年おきに実施。小学4年生～中学2年生の男女が対象
- 『高齢者調査』 1986年から10年おきに実施。60～74歳の男女が対象

※これらのデータは生活総研のWebサイト（<https://seikatsusoken.jp/>）で一般公開中。

どなたでも、登録不要・無償でご利用いただけます。



## 『生活者の平成30年史 データでよむ価値観の変化』

著：博報堂生活総合研究所

ページ数：264ページ

定価：本体2,000円+税

発行：日本経済新聞出版社

書店発売日：2019年2月22日（金）

## 目次

- 第1章 平成30年の生活環境 平静ではなかった平成
- 第2章 生活者による時代認識 過熱期、冷却期を経て、今の認識は【常温】へ
- 第3章 価値観変化の底流 【イマ・ココ・ワタシ】の充実に向かい始める生活者  
[コラム] 新たに生まれる、【トキ消費】とは  
[コラム] キャッシュレス社会、あなたは賛成？ 反対？
- 第4章 属性別にみる変化 家族・子ども・高齢者は、どう変わったか
- ① 家族30年変化 家族はいま、プロジェクトへ  
[コラム] 男女平等先進国 スウェーデンの家族
- ② 子ども20年変化 情報化社会に生まれた「タダが前提の子どもたち」  
[コラム] 【タダ・ネイティブ】の消費観  
[コラム] 『未来の道具調査』
- ③ 高齢者30年変化 長寿社会の【第2世代】  
[コラム] 【第2世代高齢者】の健康・お金・生きがい
- 第5章 生活者が変われば、マーケティングの前提も変わる 生活者の変化を、ビジネスのヒントに

### ○博報堂生活総合研究所

1981年、「生活者発想」を標榜・実践する博報堂のフラッグシップ機関として設立。人を消費者だけにとどまらない多面的な存在：「生活者」として捉え、独自の視点と手法で研究しているシンクタンク。主な活動は、生活者の変化を長期にわたって追う時系列調査や、生活者と暮らしの未来の予見・洞察など。その成果は、書籍はもちろん発表イベントやWEBサイトを通じて、広く社会に発信している。

<https://seikatsusoken.jp/>